

二年学年通信

2016年10月5日発行
第8号(通算18号)
20期生2年学年団

半分終わりました

二十期生「受験生」宣言

—今回は進路特集号です—

二十期生「受験生」宣言

たとえばあなたは自分のコップに半分残っているジュースを見てどう思いますか？

「ああ、もう半分なくなっちゃった」と嘆くのか、「やった、まだ半分残っているぞ」と喜ぶのか。

今宮高校での生活も三年間の半分が過ぎました。スクーリングが済み、文化祭が終わり、……高校生活というジュースは残りあと半分。ちよつとさびしいですね。しかしポジティブシンキングな今高生なら、残りの日々を充実させようと考える人がほとんどでしょう。「今から引退するまでに、部活動で更に成果を出すぞ」「残り半分、友達との絆をもっと深めよう」↑すばらしいですね。

「卒業後の進路をまじめに考えよう」「進みたい分野、受験科目を調べておこう」↑そうですね、それをするのは今からです。

「わたしはもう受験生かな」↑はい。「受験勉強もそろそろ」↑そのとおりです。

「でも部活とか忙しいから……時間ないし。もうちよつと後でもいいかな」↑ええ？

「先輩とか見ると三年で部活引退してから始めてた人もいるし。自分もそうしよう」↑ええっ？？

「中三のときは受験勉強遅くスタートしてもぜんぜん余裕だったし」↑それは高校受験の話でしょう。

どの道を進むにしても、あなたはもう受験生です。

高校では学ぶ量も質も中学とは桁違いなので、受験科目の基礎勉強を三年になってから始めては間に合いません。一年二年のあいだ家庭学習をせざる基本的な学力もついていない人が、部活を引退してから受験勉強を始めても、本番までに合格ラインに達することはむずかしいですね。受験は全国の他校生との勝負です。今高の中で甘え合っているのも厳しい現実の戦いに勝てるはずはないでしょう。

「えーうだ。自分を甘やかすのはもうやめた。自分は受験生なんだ。今ここできちんと受験生だと宣言して、勉強面も充実させていこう」

模試は進路実現への道しるべ

自分はもう受験生なのだと思覚をもつて、合格までの一年と数ヶ月間を、計画を立てて進んでいきましょう。計画なしに長期戦は戦えません。

計画を立てるにあたって、節目節目の道しるべとして利用するのが「模試」です。

模試を一回きりの「点」ととらえてはいけません。模試から次の模試までのあいだを「線」と考えて、そのあいだにこの科目はここまで勉強を進めよう、と科目ごとに具体的に計画するのが模試を中期計画の目標として、階段を一段一段のぼるように学力を伸ばしていきましょう。

受験までの本校の模試の予定は次のとおりです。(すべて河合塾の全国統一模試)

二年生 十一月 高2模試

一月 高2マーク模試

五月 第1回マーク模試

八月 第2回マーク模試

九月 第2回記述模試

十月 第3回マーク模試

十月 第3回記述模試

十一月 センタープレテスト

中間考査や期末考査と違い、外の会場で他校生と並んで試験を受けるのは、大事な経験になります。自分に甘えず、周りにビビらず、模試から模試へ計画的に学力をつけて、試験会場では自分の力を百パーセント発揮してください。さらに、模試の結果を分析し、その先の受験計画を練って進みましょう。また、模試のデータは毎回蓄積されて三年生で受験計画を立てる際に重要な資料になります。模試を休まないように。

「先生、今のわたしの偏差値で行けるところある？」どこでもええし↑そんなこと言う人は偏差値もどんだん下がって行って、「行けるところ」なんかなくなるでしょう。



「行きたいところ目指して、今からこつこつ努力していこう」↑そうですね。王道はありません。受験生としてきちんと苦勞しましょう。応援します。

二十期生Ⅱ受験生の皆さん、ころろどしを失わず、目標をブレさせずに、「どこか行けるところ」ではなく「ほんとうに行きたいところ」に、努力して合格しましょう。

今やるべきは、授業を大切にしながら二年の基本的な学力をしっかりと自分の身につけることです。

受験生諸君の一年半後の成果を楽しみにしています。

(二年進路指導部)

これからの進路関係の予定

- 10月13日(木・中間考査最終日) LHR 模擬試験申込・進路対策説明会希望調査
- 11月13日(日) 河合塾高二模試 会場/大阪産業大学
- 12月26~27日 ウィンターセミナー 午前 英語検定プレテスト&解説 午後 集中勉強会と講習(希望者)
- 1月15日(日) チャレンジセンター 最新のセンター試験問題を解きます(希望者)
- 1月19日(木) 6・7限 進路対策説明会 国公立、私立文系、私立理系、看護医療系、公務員に分かれた講演会。専門学校希望者は希望分野の学校説明会をおこないます。

- 1月20日(金) 午後 英語検定試験(校内実施) ☆進路実現は英語力がキーポイント。10月からの英検対策講座をぜひ受講しよう!
 - 1月29日(日) 河合塾高二マーク模試(校外会場)
 - 3月7日(火) 午前 春のめざめセミナー 各教科別の受験対策講習など
 - 3月21日(火) 午前 英語構文・漢字コンテスト
 - 3月22日(水) 午前 総合の時間 一年間のまとめ作文を書きます。進路希望の部分は、三年当初の担任との個人面談の資料となります。
- ☆「希望者」と明記されているもの以外は、すべて全員参加です。

この夏に

五・一八民主化運動

一九八〇年五月、私は栄養士の仕事と小さな二人の男の子の育児とで、忙しいながらも平和で充実した日々を過ごしていました。

その時、隣の国では大変な事態が起こっていました。民主化を求めてデモをしていた市民に向かってその国の軍隊が集団発砲したのです。発砲はメガホンで「射撃中止命令」が下されるまで約一〇分間続きました。

若い女性教師が射殺されました。彼女のお腹には八カ月の赤ちゃんがいました。赤ちゃんも命を失いました。

中学生の女生徒が射殺されました。彼女は騒動で怪我をした人の為に三〇〇ccの献血をした帰りでした。

七歳の男の子が射殺されました。少年の遺体を見た人が両親に伝え、すぐに両親がかけてくれました。が、男の子の遺体は移動されており、遺体は見つかりませんでした。彼の母親は悲しみのあまり、その直後に亡くなりました。男の子の墓は今も空っぽです。

軍隊による一〇分間の発砲により、五四名以上の犠牲者がました。七歳の男の子は、発砲直前に軍の隊員たちに手を振っていたそうです。「兵隊さん頑張ってるね」と思っていたのでしょうか。

三六六年間、行かねば思っていた地に、この夏行くことができました。

光州民主化運動 検索してみてください。

(家庭科 小川圭子)

※「この夏」みなさんはどんな経験をしましたか。心がふるえるような思いをした人もいます。その気持ちを忘れずに。



とことん勉強する体験をしてほしい。最後までやりぬく経験をしてほしい。きつと人生を航海する糧となるはず。大げさかもしれませんが、そう思います。

